

渡島西部広域事務組合

【松前町・福島町・知内町・木古内町】

海峡



福島消防団 早春の放水訓練!!

今年も安心・安全な町を目指して

3月12日(日) 新調した防火衣で、いざ放水 ～ 福島町館の沢地区



同じ日に行われた消防自動車機関操作訓練の様子

～ 海峡44号の主な内容 ～

議会定例会	P 2
議会調査特別委員会	P 4
衛生センターからのお知らせ	P 5
今年の消防署の目標	P 6
職員の人事異動	P 7
地域と身近な消防署	P 7
新採用職員の抱負	P 8

渡島西部広域事務組合議会 第1回定例会

2月24日(金)、第1回定例会が開催され、管理者の行政報告の後、議案5件が可決されました。

行政報告

1 衛生関係について

3月1日(水)から小型家電のリサイクルを目的とした、小型家電の回収を開始することにしました。各役場担当課窓口で回収する小型家電は、パソコン、携帯電話、デジタルカメラの三種類です。



役場窓口で回収している小型家電



松前消防署の煙突調査の様子

2 消防関係について

(1) 消防庁舎等のアスベスト緊急調査の結果について

昨年11月29日(火)から12月27日(火)にかけて、松前、福島、知内の三消防署を対象に庁舎煙突のアスベスト調査を、また、福島、知内の二消防署を対象に空気中のアスベスト粉じん濃度調査を実施しました。

三消防署とも煙突内にアスベストが見られ、また、二消防署とも敷地内の空気中にアスベスト粉じんが存在するとのことでしたが、大気汚染防止法の基準を大きく下回る結果となりました。

各消防署では、今後、適切な対策を講じることにしています。

(2) 火災について

12月15日(木)、知内町中の川地区で、自然発火による牧草ロール約20個焼失の火災が発生しました。

12月17日(土)、松前町の白神寿の家で、誤って石油ストーブにガソリンを入れてしまったための火災が発生し、初期消火の方1名が軽い火傷を負い救急搬送されました。

12月30日(金)、木古内町釜谷地区で、専用住宅1棟と物置3棟の全焼等の火災が発生しました。出火原因は、石油ストーブから立ち上がった炎によるものでしたが、消火に当たった住人1名の尊い命が奪われ、また、煙を吸い込んだ住人1名が救急搬送される結果となりました。

年末にかけて3件の火災が発生しており、高齢の方々が火災の犠牲になっていることから、引き続き火災予防の普及・啓発を強化してまいります。

審議された議案内容

☆職員等の旅費に関する条例等の一部改正について（議案第1号）

平成15年度から構成町の財政健全化計画に基づき引き下げていた消防団長・副団長以外の団員と一般職員の日当を、構成町の状況等を勘案し、4月1日から300円引き上げることにしました。

また、東京都等の大都市に出張する際の宿泊料についても、宿泊料の高騰等に対応するため、人事院規則等に基づき、宿泊の地域区分を甲・乙の2区分とし、各々の宿泊料を設定しました。



昨年の知内町サマーカーニバル

☆火災予防条例の一部改正について（議案第2号）

国は、平成25年京都府福知山で発生した花火大会での惨事を教訓に、屋外での大規模催しの際の防火管理体制等を確立するため火災予防条例を改正しましたので、当組合の関係条例も、これに合わせて改正しました。

なお、当組合の消防長が指定する大規模屋外催しを、1日の予想人出が3万人以上、かつ、出店する露店等が30店以上としました。

詳しいことは、消防本部または各消防署へお問い合わせください。

☆平成28年度一般会計補正予算（議案第3号）

予算総額から5,643万9千円を減額し、総額を15億9,539万4千円としました。

歳出減額の主な内容は、ストックヤード等の建設工事や消防関係車輛の入札減と、年度末の予算精査によるものです。

また、歳入では、し尿処理手数料等の実績による増減や、各種入札減に伴う国庫補助金等の減額です。



木古内消防署庁舎前の消防車と救急車

☆積立金の処分について（議案第4号）

平成29年度木古内消防署消防ポンプ自動車購入の財源とするため、石油貯蔵施設立地対策等交付金基金796万3千円以内を使うことにしました。

この基金は、木古内消防署の事業実施に使うための積立金です。

☆平成29年度一般会計予算（議案第5号）

平成29年度の予算総額を、16億6,875万1千円としました。

前年度と比べると1億5,909万4千円の増で、各消防署の庁舎改修や大型車輛の購入等の増加によるものです。

歳出では、69.3%が人件費と物件費、18.4%が建設事業費を占めています。

歳入では、91.5%が構成町負担金、7.7%がし尿処理手数料や基金繰入金となっています。

4月1日現在の職員数は115人で、昨年4月と同数です。

事務局	衛生センター	消防本部	松前消防署	福島消防署	知内消防署	木古内消防署	合計
4人	5人	4人	33人	22人	24人	23人	115人

☆平成29年度の建設事業計画

平成29年度の100万円以上の建設事業は22件で、事業予算は3億5,048万6千円、前年度に比べ3件の事業数の減少となりましたが、事業予算では1億2,817万4千円の増加となりました。

担当部署	事業名
衛生センター	汚泥再生処理設備機械オーバーホール
	ごみ処理設備機械オーバーホール
	連絡車購入事業
	タイヤショベル購入事業
消防本部	災害用エアテント購入負担金事業
松前消防署	耐震性貯水槽新設工事（白神地区1基）
	防火水槽補修工事（館浜地区1基）
	小型動力ポンプ積載車購入事業
	高規格救急自動車購入事業
	消火栓更新工事（10基（館浜、上川、大沢、江良、豊岡地区））
福島消防署	消防庁舎屋上・外壁改修工事
	白符分団器具置場改築工事
	消火栓新設工事（月崎地区1基）
	防火水槽改修工事（松浦地区1基）
	消火栓更新工事（月崎地区2基）
知内消防署	耐震性貯水槽新設工事（中の川地区1基）
	消火栓移設工事（小谷石地区（矢越山荘）1基）
	水槽付消防ポンプ自動車購入事業（水Ⅰ-A型）
	消火栓更新工事（3基（涌元谷地、湯の里、小谷石地区））
木古内消防署	消防庁舎改修（建設・機械、電気設備）及び庁舎裏車庫新設工事
	泉沢機械器具置場改築工事
	消防ポンプ自動車購入事業（CD-II型）
合計	22件

第1回 し尿処理施設整備に関する調査特別委員会

第1回定例会に引き続き、第1回し尿処理施設整備に関する調査特別委員会が開催されました。

ストックヤードの完成と供用開始の状況を確認後、当委員会が担当した衛生関係施設の整備計画審議と事業実施が終了したことから、その使命を十二分に達成したとして、全会一致で委員会を終結することにしました。

9年間にわたるご審議、ありがとうございました。

調査特別委員会（平成21年2月17日設置）

- ・一般廃棄物処理基本計画及び汚泥再生処理センター施設計画の内容審議
- ・汚泥再生処理センターの建設
- ・旧し尿処理施設の解体
- ・ストックヤードの建設



委員会の終結を宣言する
又地委員長

衛生センターからののお知らせ

汚泥肥料の申し込みについて

農作業の季節になりました。

当センターの汚泥肥料も大活躍ですが、ただいま申し込みが殺到しております。

5月申込みの場合、引渡しは10月以降となります。

なお、申込み数は1件20袋までです。

(衛生センター 電話 0139-47-2201)



予約した肥料を受け取りに来た様子

● 汚泥再生処理センター

汚泥肥料の袋詰め装置



し尿きょう雑物(異物)除去装置



● リサイクルプラザ

更新したフォークリフトでの積み込み



● スtockヤード

積み上げたペットボトル成型品

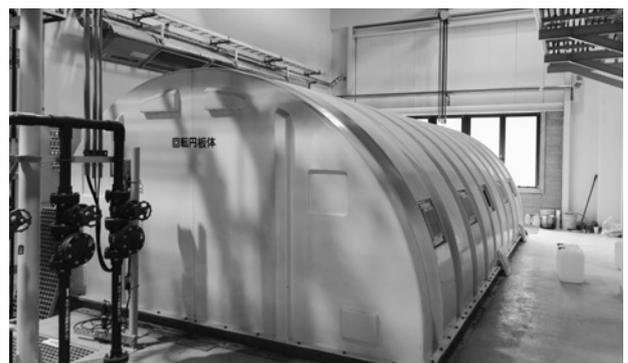


● 最終処分場

凝集沈殿槽(水に含まれる浮遊物除去装置)



更新した回転円板(微生物による水浄化装置)



今年^の消防署の目標

松前消防署

規律、統制ある行動と、団結、融和を重んじ、より一層、有事即応体制の確保に努めます。

人 員	職員33人、団員121人
車 輜	水槽付消防自動車等15台 高規格救急自動車2台



昨年度更新の松前1号を使った訓練

福島消防署

火災予防に努め、無火災で、安心・安全な福島町を目指すため、住宅用火災警報器の全世帯設置を促進します。

人 員	職員22人、団員73人
車 輜	水槽付消防自動車等9台 高規格救急自動車2台



昨年度更新の消防広報作業車と署員

知内消防署

火災等による被害を軽減させるため、消防団の機動力増強を図ると共に、保有する資器材の機能を最大限発揮できるよう訓練に努めます。

人 員	職員24人、団員80人
車 輜	水槽付消防自動車等10台 高規格救急自動車2台



昨年度新設の防火水槽と署員

木古内消防署

消防団と協力し新入団員の確保に努めるとともに、消防団員との連携強化を目標に掲げ、災害に対応してまいります。

人 員	職員23人、団員69人
車 輜	水槽付消防自動車等9台 高規格救急自動車2台



昨年度改修した
庁舎望楼と署員

職員の人事異動

職員の新異動

(昇任・昇格)

平成29年4月1日付

消防本部



鍋谷 悟
次長

松前消防署



可香 靖
松前消防署長

- ・小川 隆 広
- 江良出張所長
- ・木田 悟
- 警防課長
- ・竹 利 春
- 江良出張所係長
- ・渡 辺 努
- 管理課管理係長
- ・疋 田 光 輝
- 警防課救急通信係長
- ・佐々木 友 彦
- 管理課指導係長
- ・藤 村 規 行
- 警防課警防係長

池田 翔 平
警防課救急通信係主任

高 堰 智 大

警防課警防係

高 山 亨

管理課管理係

川 村 祐 司

警防課救急通信係

新井田 裕 真

江良出張所係

川和田 章 史

管理課管理係

田 原 壮 汰

江良出張所係

寺 岡 龍 生

管理課管理係

川 村 健 太

管理課指導係

福島消防署

越後谷 圭 司

警防課長

阿 部 達 也

警防課警防係主任

菊 地 拓 也

管理課管理係主任

大 橋 浩

管理課管理係

西 山 雄 平

警防課救急通信係

岩 城 雄 大

管理課指導係

小美浪 航

警防課警防係

富 山 佳 明

管理課指導係

知内消防署

櫻 井 雅 之

管理課指導係主任

野 戸 教 靖

管理課管理係主任

庭 洗 介

警防課警防係

高 村 祐 輝

管理課管理係

木古内消防署

吉 澤 崇

警防課主幹

松 井 光 也

警防課救急通信係主任

瀬 戸 有 人

管理課指導係

新採用職員

平成29年4月1日付

松前消防署

久保田 大 聖

警防課警防係

福島消防署

富 山 省 吾

警防課警防係

工 藤 拓 摩

警防課警防係

木古内消防署

横 田 悠 佑

警防課警防係

松 田 健 太 郎

警防課警防係

退職職員

平成29年3月31日付

松前消防署退職

鍋 谷 司

(警防課長)

福島消防署退職

山 登 貴 司

(警防課長)

地域と身近な消防署



福島消防署 こども消防士



木古内消防署 こどもレスキュー



知内消防署 救助訓練

新

採

用

職

員

の

抱

負

平成29年4月1日に採用された職員を紹介します。
構成町の皆様、よろしくお願いいたします。



●松前消防署

くほた たい せい
久保田 大 聖

(18歳)

(松前町出身)

町民の皆様の信頼を少しでも多く得られるように、消防職員として、新人ながら精一杯勤めていきます。
よろしくお願いいたします。



●木古内消防署

よこ た ゆう すけ
横 田 悠 佑

(18歳)

(函館市出身)

一人前の消防士として認められるよう、日々多くのことを学び吸収していきたいと思えます。
よろしくお願いいたします。



●福島消防署

とみ やま しょう ご
富 山 省 吾

(18歳)

(福島町出身)

地域の方々に信頼される消防士を目指し、私が生まれ育った福島町に貢献できるよう日々努力していきます。



●木古内消防署

まつ だ けん たろう
松 田 健 太 郎

(20歳)

(木古内町出身)

常に向上心をもって日々の訓練に取り組み、立派な消防士になれるよう精一杯頑張ります。
よろしくお願いいたします。



●福島消防署

く どう たく ま
工 藤 拓 摩

(18歳)

(福島町出身)

生まれ育った町に、一つでも多く恩返しができる様に、いち早く仕事に慣れ、信頼される消防士になれるよう頑張っています。

第 44 号

平成29年5月発行

発行人 渡島西部広域事務組合
(松前町・福島町・知内町・木古内町)

〒049-1331

北海道松前郡福島町字三岳45-1
TEL 0139-47-3511 FAX 0139-47-2496

印 刷 (株)長門出版社印刷部